

体育史学会第8回大会（2019年）プログラム

1日目 5月11日（土） 15:00開会

開始時刻	発表者	演題	座長
15:00 ～15:30	富田 幸祐 (日本体育大学オリンピックスポーツ文化研究所)	小野庄次郎『樺太野球史』（1940）にみる樺太における野球の展開	秋元 忍 (神戸大学)
15:30 ～16:00	山村 洋子 (北海道大学大学院)	『広報とこころ(通信)・きたみ』にみるローカル・アイデンティティの分析——「竹ぼうき」時代のカーリングから「ロコ・ソラーレ」へ	秋元 忍 (神戸大学)
16:00 ～16:30	尾川 翔大 (日本体育大学スポーツ危機管理研究所)	1930年代初頭における府県体育協会の設置：「内務省－府県体制」に着目して	新井 博 (日本福祉大学)
		【 休憩 10分 】	
16:40 ～17:10	石立 克己 (北海道大学大学院)	拡大的アスレティズムに関する研究——労働者階級の包摂とボーイスカウト運動	來田 享子 (中京大学)
17:10 ～17:40	伊東 佳那子 (中京大学大学院)・ 來田 享子 (中京大学)	1964年「東京五輪おどり」に関する検討——花柳秀による振付の経緯と踊りの再現を中心に	和田 浩一 (フェリス女学院大学)
		【 休憩 10分 】	
17:50 ～18:50	鈴木 明哲 (東京学芸大学)	【研究方法セミナー】 体育・スポーツ史研究の叙述——投稿論文を創る	和田 浩一 (フェリス女学院大学)
19:20 ～21:20		情報交換会 (ポム・ダムール)	

2日目 5月12日（日）

9:45 ～10:15	榑原 浩晃 (福岡教育大学)・ 田端 真弓 (大分大学)	明治初期・都城縣『小学館一卷』（明治5年）にみる体操関連史料記述——学制公布前後の時代における郷校（都城縣）の課目・体操	大久保 英哲 (金沢星稜大学)
10:15 ～10:45	新井 博 (日本福祉大学)	昭和4年ヘルセットの指導によるスキージャンプの向上	鈴木 明哲 (東京学芸大学)
		【 休憩 5分 】	
10:50 ～11:20	木下 秀明 (元日本大学)	陸軍戸山学校機関誌「研究彙報」と「体育と武道」の推移	田原 淳子 (国土館大学)
		【 休憩 10分 】	
11:30 ～12:30		総 会	

* 発表 20分、質疑応答 10分（計30分）、研究方法セミナーは60分。